

令和8年度第1回江別市地域公共交通活性化協議会 開催結果（要旨）

日 時：令和8年6月25日（木） 10時00分～10時30分

場 所：江別市民会館3階37号室

出席者：金子武史会長、高野伸栄副会長、猪股光晴委員、厚谷勝利委員、中野幹也委員、
内藤幸樹委員、福井輝喜委員、木村敬委員、鳴海仁委員、佐藤誠一委員、
名古屋由紀子委員、佐藤貴史委員、荒井緑委員、滝沢麻衣子委員、門間俊也委員、
喜多美恵委員

※井元秀樹委員、鈴木康治委員、寺町満照委員、松田哲治委員、遠藤雄一委員、
志田幸起委員は都合により欠席

傍聴者：2名

会議概要

1 開 会

2 報告事項

（1）デマンド型交通運行事業について

○事務局から説明

資料1をご覧ください。これは、現在、江北地区と豊幌地区で運行しているデマンド型交通について、令和7年度までの実績を整理した資料である。

まず、江北地区の利用者数は、令和2年度・3年度は、コロナ禍による移動自粛等の影響もあり、いったん減少し、令和4年度からは回復・増加傾向にあったが、令和7年度は減少する結果となっている。なお、会員数に対して、実利用者数は多くはないが、地元としては、現在は利用していなくても、将来の利用に向けて、引き続き地域で支えて維持していきたいという意向である。

次に、豊幌地区については、こちらも利用者数は令和6年度まで増加傾向にあったが、令和7年度は減少する結果となっている。

両地区に減少の要因など確認したところ、これまで高頻度で通院利用していた方の死去や、同じく高頻度でリハビリ通院していた方が完治し利用しなくなったことなどが要因と伺っている。

次に、資料2をご覧ください。これは、江北地区のデマンド型交通運行事業における、令和8年4月からの制度変更に係る新旧対照表となる。

まず、運行便については、一部会員から、最終便（第7便）を遅くしてほしいとの要望を受けたことから、他会員への聞き取り内容なども踏まえ、15：00頃発から15：30頃発へ変更したものである。

次に、委託料については、昨年12月17日からの札幌・小樽地区のタクシー運賃

値上げに伴い、事業主体が運行委託先となるタクシー事業者へ支払う委託料を改定したものである。

【質疑等】

○金子会長

このことについて、ご意見・ご質問などあるか。

(質疑なし)

(2) 市内バス路線について

○事務局から説明

資料3をご覧ください。

まず、「1 概要」について、現在、北海道中央バス株式会社様が運行している市内2路線が、利用者の減少や乗務員不足等により、令和9年3月末で廃止となり、令和9年4月から、夕鉄バス様が運行を引き継ぐ予定である。

次に、「2 廃止となる路線の概要」について、野幌見晴台線は、見晴台や新栄台などの野幌地区北部と野幌駅北口を結ぶ路線で、1日の運行便数は、平日10便、土日祝日8便である。江別2番通線は、あけぼの団地と大麻駅前を結び、江別駅前や野幌駅北口などを経由する路線で、1日の運行便数は、平日8便、土日祝日6便である。

次に、「3 路線を継承する事業者」について、夕張鉄道株式会社様の予定である。

次に、「4 その他」について、夕張鉄道株式会社様が運行しても、便数の変更はなく、運賃は現行と同程度の予定である。

なお、夕張鉄道株式会社様への運行引き継ぎ後も、安定的に路線を維持するための事業者支援策として、市のスクールバス委託期間の拡大等を今後検討する予定である。

【質疑等】

○金子会長

このことについて、ご意見・ご質問などあるか。

(質疑なし)

3 協議事項

(1) 地域公共交通確保維持事業に係る計画の認定について

(2) 江別市地域公共交通計画の変更について

○事務局から説明

資料4をご覧ください。平成30年10月から、北海道中央バス株式会社様が運行している「野幌見晴台線」は、国の補助制度が活用できる路線であり、当該計画の作成が補助要件の1つとなっていることから、毎年度当協議会において作成している。

まず、目的・必要性については、資料に記載のとおりで、昨年度から変更はない。事業の目標については、江別市地域公共交通計画の目標と整合性を図り、野幌見晴台線に係る部分を抜粋して、目標値としている。

なお、先ほどの説明のとおり半期で運行事業者が変更となる予定であること、また、その路線の継承にあたり、国の補助金を活用して、新たにバス車両2台を購入する予定であることから、項目11・12・13に車両取得に係る必要事項を記載している。これ以降の運行便の詳細、運行系統図、ダイヤなどは資料に記載のとおり。

次に、資料5をご覧ください。これは、資料4で説明のとおり地域公共交通確保維持事業の内容に変更が生じることから、江別市地域公共交通計画に記載の内容についても、同様の変更を行うものである。

新旧対照表の1枚目・2枚目にあるとおり、車両減価償却費等補助の活用と、夕鉄バス様の記載を追記する変更となる。

【質疑等】

○金子会長

このことについて、ご意見・ご質問などあるか。

(質疑なし→承認)

(3) 令和7年度協議会決算及び監査報告について

○事務局から説明

資料6をご覧ください。従前はバス事業者と国が直接補助金のやり取りを行っていたが、令和7年度分からは、地域の協議会会計を経由して、やり取りを行うこととなったため、その決算概要について説明するものである。

まず、歳入については、予算として、江別市負担金770円、国補助金3,600,000円、合計3,600,770円を計上していたが、決算としては、江別市負担金990円、国補助金1,901,000円、合計1,901,990円となっている。

次に、歳出については、予算として、負担金・振込手数料込みで合計3,600,770円を計上していたが、決算としては、負担金・振込手数料込みで合計1,901,990円となっており、国補助金の全額を中央バス様にお支払いしている。

収支決算額につきましては、歳入合計1,901,990円、歳出合計1,901,990円で、差引残額は0円となっている。以上が決算概要となる。

○監査報告（名古屋委員）

令和8年5月21日に、出納関係について、監査を実施した結果、関係帳簿等に異常は認められず、適切に処理されていることを確認した。

【質疑等】

○金子会長

このことについて、ご意見・ご質問などあるか。

○高野副会長

当初予算で補助金は360万であったが、決算では190万円となり、約170万円の減となっているが、この減額の理由は何か。

○事務局

国の補助金の減少と、路線の減便により経費が減り、赤字額が圧縮されたことで申請額が減少したためである。

○金子会長

その他に、ご意見・ご質問などあるか。

(質疑なし→承認)

(4) 令和8年度協議会予算について

○事務局から説明

資料7をご覧ください。

まず、歳入については、江別市からの負担金990円、国補助金1,900,000円を予定しており、歳入合計1,900,990円を計上している。

次に、歳出については、バス事業者様へ支払う負担金・振込手数料込みで合計1,900,990円を計上している。

なお、国からの補助金の額については、本年の10月以降に判明することから、予算額として、昨年度の実績額1,900,000円を計上するものである。

【質疑等】

○金子会長

このことについて、ご意見・ご質問などあるか。

(質疑なし→承認)

4 その他

○事務局

次回の協議会は、急な案件等がなければ、11月頃に開催を予定している。

5 閉 会